プログラム

大会長講演　　7 月 11 日（土）9:30 ～ 10:00　第 1 会場（図書館大ホール）

医薬品情報の「輪」と「共創」

座長：内田 まやこ（九州大学病院　薬剤部）
演者：真野 泰成（東京理科大学　薬学部）

特別講演 1　　7 月 11 日（土）10:00 ～ 10:45　第 1 会場（図書館大ホール）

アンサングシンデレラはこうして生まれたー医療原案担当が語る制作の舞台裏ー

座長：真野 泰成（東京理科大学　薬学部）
演者：富野 浩充（焼津市立総合病院　薬剤部）

教育講演　　7 月 11 日（土）10:50 ～ 11:35　第 1 会場（図書館大ホール）

医療 DX と医療情報の活用

座長：舟越 亮寛（医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 薬剤部）
演者：高橋 悠一（厚生労働省医政局）

特別講演 2　　7 月 11 日（土）16:25 ～ 17:10　第 1 会場（図書館大ホール）

不可能を可能にする発想の転換

座長：大谷 壽一（慶應義塾大学 医学部）
演者：秋山 仁（東京理科大学）

■シンポジウム

シンポジウム 1　　7 月 11 日（土）9:30 ～ 11:30　第 2 会場（講義棟　103 教室）

腎機能障害患者における医薬品情報 ～理解・活用・実装～

座長：近藤 悠希（熊本大学 大学院生命科学研究部 薬物治療設計学分野（臨床薬理学））
　　大野 能之（東京大学医学部附属病院 薬剤部）
オーガナイザー：近藤 悠希（熊本大学 大学院生命科学研究部 薬物治療設計学分野（臨床薬理学））
　　大野 能之（東京大学医学部附属病院 薬剤部）

S1-1　**腎×医薬品情報評価「腎排泄型薬剤の基本的な考え方と医薬品情報の評価」**
大野 能之（東京大学医学部附属病院 薬剤部）

S1-2　**腎×検査値情報評価「腎機能評価の基礎と臨床現場での活用」**
岡田 直人（山口大学医学部附属病院 薬剤部）

S1-3　**腎×薬局での情報把握「保険薬局における腎排泄型薬剤の適正使用の現状と課題」**
鈴木 すみれ（株式会社メディカルシステムネットワーク　薬局事業本部　薬局教育部）

S1-4　**腎×情報システム「腎機能を考慮した適正使用を支援するシステムの開発と社会実装」**
近藤 悠希（熊本大学 大学院生命科学研究部 薬物治療設計学分野（臨床薬理学））

シンポジウム 2　　7 月 11 日（土）9:30 ～ 11:30　第 3 会場（講義棟　101 教室）

電子お薬手帳、どう確認していますか？ ～スマホ時代の薬剤情報確認を考える～

座長：柴﨑 淳（北里大学メディカルセンター　薬剤部）
　　山中 理（市立大津市民病院 医薬品情報管理室・医療情報システム室）
オーガナイザー：柴﨑 淳（北里大学メディカルセンター　薬剤部）

S2-1　**日本薬剤師会における e 薬 Scan・e 薬 Link の位置づけと今後の展望**
堀越 博一（公益社団法人日本薬剤師会）

S2-2　**電子お薬手帳と持参薬確認 -e 薬 SCAN・オンライン資格確認の運用と課題 -**
照沼 保徳（労働者健康安全機構　福島労災病院薬剤部）

S2-3　**当院における電子お薬手帳の運用について**
森 健太郎（医療法人鉄蕉会　亀田総合病院　薬剤部）

S2-4　**電子お薬手帳、どう確認していますか？ ～スマホ時代の薬剤情報確認を考える～**
山田 仁之（株式会社千葉薬品　情報システム部）

シンポジウム 3　　7 月 11 日（土）9:30 ～ 11:30　第 4 会場（講義棟　201 教室）

どうする？長期収載品目撤退で古い薬の情報がなくなってしまいます！

座長：俵木 登美子（一般社団法人くすりの適正使用協議会）
　　後藤 伸之（名城大学薬学部）
オーガナイザー：俵木 登美子（一般社団法人くすりの適正使用協議会）

S3-1　**G1 撤退が DI 業務に及ぼす影響　～医薬品情報の喪失と情報継承の課題～**
若林 進（杏林大学医学部付属病院　薬剤部 / 東京医療保健大学 医療保健学部）

S3-2　**長期収載品撤退時の情報保管のあり方について―ジェネリック医薬品の立場から**
大野 公嗣（日本ジェネリック製薬協会安全性委員会）

S3-3　**長期収載品撤退時の医薬品情報の承継の現状・課題、米国の状況**
菊地 主税（ヴィアトリス製薬合同会社）

S3-4　**長期収載品の医薬品情報のあり方（検討する上で行政の立場から整理してほしいこと）**
安川 孝志（厚生労働省医薬局医薬安全対策課）

シンポジウム 4　　7 月 11 日（土）13:05 ～ 15:05　第 1 会場（図書館大ホール）

中小病院における「DI 業務」と「教育」～医薬品情報認定薬剤師の苦悩・工夫・そして共育～

座長：小川 充恵（八尾市立病院 医療情報管理室）
　　山中 理（市立大津市民病院 医薬品情報管理室・医療情報システム室）
オーガナイザー：大庭 理寛（JA 神奈川県厚生連 伊勢原協同病院 薬局）

S4-1　**薬学生に対する医薬品情報に関する実務実習前演習の取り組み**
西田 麻以（就実大学 薬学部）

S4-2　**春日井市民病院における能動的医薬品情報教育の実践**
鈴木 大吾（春日井市民病院薬剤科）

S4-3　**中小病院における DI 業務と実務実習教育 - リソース不足の中で取り組む現状と課題**
市橋 称都美（社会医療法人財団仁医会牧田総合病院薬剤部）

S4-4　**学生・レジデント・臨床薬剤師へ繋ぐ「医薬品情報教育」～中規模大学病院における教育の実際と課題～**
上森 恵里（日本医科大学武蔵小杉病院薬剤部）

S4-5　**中小病院における「DI 業務」の苦悩と共育**
大庭 理寛（JA 神奈川県厚生連 伊勢原協同病院 薬局）

シンポジウム 5　　7 月 11 日（土）13:05 ～ 15:05　第 2 会場（講義棟　103 教室）

一緒に作る医薬品情報：製薬会社・病院・薬局・アカデミアがつなぐ患者視点の情報提供

座長：内倉 健（昭和医科大学薬学部）
　　酒井 隆全（名城大学薬学部医薬品情報学研究室）
オーガナイザー：内倉 健（昭和医科大学薬学部）

S5-1　**患者視点に基づく資材作成と安全性情報提供の最適化に向けて**
円谷 尊彦（中外製薬株式会社　医薬安全性本部）

S5-2　**医薬品情報担当として患者視点の医薬品情報を考察する**
中田 英夫（慶應義塾大学病院　薬剤部）

S5-3　**医薬品情報の伝わり方と患者理解～臨床現場で見える課題を手がかりに～**
坂井 千夏（東京医科大学病院　薬剤部）

S5-4　**患者の生活に届く医薬品情報を保険薬局から考える**
菅 裕亮（株式会社なの花北海道 なの花薬局若草店/株式会社メディカルシステムネットワーク学術部）

S5-5　**患者視点の情報提供につなげる薬学教育―臨床準備教育と現場実践のギャップから考える課題と展望―**
田坂 祐一（就実大学　薬学部）

シンポジウム 6　　7 月 11 日（土）13:05 ～ 15:05　第 3 会場（講義棟　101 教室）

病院・薬局における医薬品情報学研究：研究企画委員会が支援します！

座長：鈴木 すみれ（株式会社メディカルシステムネットワーク）
　　堀 里子（慶應義塾大学　薬学部）
オーガナイザー：小原 拓（東北大学病院　薬剤部）
　　堀 里子（慶應義塾大学　薬学部）

S6-1　**医薬品情報学研究の動向と課題：分類と近年のトレンドを踏まえて**
永田 健一郎（九州大学病院）

S6-2　**保険薬局実務におけるリサーチクエスチョン形成の視点**
松井 洸（株式会社ツルハホールディングス）

S6-3　**病院・薬局の現場情報から始める医薬品情報学研究**
木﨑 速人（慶應義塾大学　薬学部）

S6-4　**病院 DI 業務の問いを研究へつなげる第一歩―学会発表からステップアップを目指して―**
大幸 淳（済生会横浜市東部病院 薬剤部）

S6-5　**研究相談の受け手から見た「躓きポイント」とその解決策**
鈴木 信也（東京薬科大学）

シンポジウム 7　　7 月 11 日（土）13:05 ～ 15:05　第 4 会場（講義棟　201 教室）

リアルワールドデータは医薬品情報をどう変えるか
― 医療情報データベースに基づく電子添文改訂の最前線 ―

座長：大道寺 香澄（エーザイ株式会社）
　　設楽 美紀子（Gene And Serve 株式会社）
オーガナイザー：大道寺 香澄（エーザイ株式会社）
　　丸山 加奈（ヴィアトリス製薬合同会社）

S7-1　**制度の背景や目指す姿について -RWD を用いた添付文書改訂事例 -**
築田 真梨子（独立行政法人医薬品医療機器総合機構　医薬品安全対策第一部）

S7-2　**医療情報データベースを用いた調査結果に基づく電子化された添付文書改訂について**
丸山 加奈（ヴィアトリス製薬合同会社　薬事本部　薬事ラベリング部 1 ）

S7-3　**EU における PASS と SmPC 改訂の実態―日本の製造販売後調査の電子添文への活用促進に向けた課題と期待―**
金山 徹哉（ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社 PMS ストラテジー & プランニング）

S7-4　**どのような RWD に基づく情報が電子添文にあると有用か**
篠原 旭（国立がん研究センター東病院）

S7-5　**リアルワールドデータ研究と医薬品情報との接点を考える―医療現場とアカデミアの視点から―**
田中 雄太（岡山大学病院薬剤部）

シンポジウム 8　　7 月 12 日（日）9:30 ～ 11:30　第 1 会場（図書館大ホール）

リアル新薬評価会～新医薬品の特性や注意点を DI 担当薬剤師と一緒に考えてみよう～

座　長：大野 能之（東京大学医学部附属病院　薬剤部）
　　冨田 隆志（広島大学病院　薬剤部）
オーガナイザー：大野 能之（東京大学医学部附属病院　薬剤部）
　　冨田 隆志（広島大学病院　薬剤部）

S8-1　**リアル新薬評価会 - 新医薬品の特性や注意点を DI 担当薬剤師と一緒に考えてみよう -**
大野 能之（東京大学医学部附属病院薬剤部）
冨田 隆志（広島大学病院　薬剤部）
討論者：近藤 悠希（熊本大学大学院生命科学研究部 薬物治療設計学分野（臨床薬理学））
小原 拓（東北大学東北メディカル・メガバンク機構／東北大学病院薬剤部）
鈴木 貴明（山梨大学医学部附属病院薬剤部）

シンポジウム 9　　7 月 12 日（日）9:30 ～ 11:30　第 2 会場（講義棟　103 教室）

医薬品情報としての審査報告書の未来を考える

座長：若林 進（杏林大学医学部付属病院 薬剤部）
　　柏谷 祐司（日本製薬工業協会 薬事委員会）
オーガナイザー：若林 進（杏林大学医学部付属病院 薬剤部）

S9-1　**医薬品情報としての審査報告書の未来を考える**
若林 進（杏林大学医学部付属病院 薬剤部）

S9-2　**医薬品承認審査における審査報告書の役割**
松倉 裕二（独立行政法人医薬品医療機器総合機構　審査マネジメント部）

S9-3　**医薬品情報としての審査報告書の今後を考える―製薬企業の立場から考える審査報告書の課題と今後の方向性について―**
村田 宰子（日本製薬工業協会　薬事委員会）

S9-4　**医療現場における審査報告書の利活用と期待するもの**
荒 義昭（独立行政法人国立病院機構災害医療センター）

S9-5　**審査報告書の役割と今後を考える**
鹿野 真弓（東京理科大学薬学部薬学科）

シンポジウム 10　　7 月 12 日（日）9:30 ～ 11:30　第 3 会場（講義棟　101 教室）

保険薬局と薬科大学の連携が地域医療を変える ～実例から探る、新たな価値の創出～

座長：下平 秀夫（帝京大学薬学部）
　　佐々木 武志（葛飾区薬剤師会）
オーガナイザー：下平 秀夫（帝京大学薬学部）

S10-1　**教育・研究・地域貢献をつなぐ区薬剤師会と大学の連携**
吉田 正樹（吉田薬局 / 一般社団法人葛飾区薬剤師会）

S10-2　**大学と地域薬剤師会の連携による医薬品適正使用に資する取り組みの展望**
中田 亜希子（東京理科大学薬学部）

S10-3　**自治体×薬科大学×薬剤師会――八王子モデルが示す地域医薬品適正使用の新たな連携像**
添石 遼平（一般社団法人 八王子薬剤師会 / 八王子薬剤センター薬局）

S10-4　**日本薬剤師会大学教員薬剤師部会の設置と薬学教育の課題解決に向けた連携の取組み**
山浦 克典（日本薬剤師会 / 慶應義塾大学薬学部）

シンポジウム 11　　7 月 12 日（日）9:30 ～ 11:30　第 4 会場（講義棟　201 教室）

医薬品情報比較を極めたアカデミック・ディテーリング ～個別最適化を目指した処方提案へ～

座長：小茂田 昌代（千葉西総合病院 薬剤部）
　　濱野 裕章（岡山大学学術研究院　医療開発領域　薬剤部）
オーガナイザー：小茂田 昌代（千葉西総合病院 薬剤部）
　　座間味 義人（岡山大学病院　薬剤部）

S11-1　**アカデミック・ディテーリングにおける論文の批判的吟味の重要性**
田中 怜（湘南医療大学　薬学部 / 東京理科大学　薬学部）

S11-2　**アカデミック・ディテーリング資材開発に携わって気づいた薬剤師の専門性**
大沼 真季（株式会社メディパルホールディングス）

S11-3　**アカデミック・ディテーリング資材から読み解くアメナメビル相互作用リスクとは**
魚住 春歌（医療法人徳洲会千葉西総合病院薬剤部）

S11-4　**在宅プライマリ・ケアを支えるアカデミック・ディテーリング：処方提案の実際**
髙浦 知沙（サンロクゴ訪問薬局目黒店）

S11-5　**アカデミック・ディテーリング実践による患者アウトカム評価－介入型薬剤疫学研究の意義－**
杉山 奈津子（国際医療福祉大学　薬学部）

シンポジウム 12　　7 月 12 日（日）13:05 ～ 15:05　第 1 会場（図書館大ホール）

医薬品情報業務の問題点を乗り越えろ ～実現・持続可能な業務展開を考える～

座長：安島 秀友（横浜市立大学附属病院　薬剤部）
　　永野 靖典（三楽病院　薬剤科）
オーガナイザー：安島 秀友（横浜市立大学附属病院　薬剤部）
　　大幸 淳（済生会横浜市東部病院　薬剤部）

S12-1　**アンケート調査から考察する医薬品情報業務の現状と課題**
内倉 健（昭和医科大学薬学部病院薬剤講座）

S12-2　**医療 DX で乗り越えろ、RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）による業務効率化**
小川 暁生（近江八幡市立総合医療センター薬剤部）

S12-3　**生成 AI で乗り越えろ、ヒトと AI の強みを活かした仕事術**
佐藤 弘康（JA 北海道厚生連　網走厚生病院　薬剤科）

S12-4　**教育で乗り越えろ、薬剤部員の医薬品情報リテラシー向上**
中田 英夫（慶應義塾大学病院　薬剤部）

S12-5　**つながりで乗り越えろ、施設間連携による DI 業務の効率化**
大幸 淳（済生会横浜市東部病院　薬剤部）

シンポジウム 13　　7 月 12 日（日）13:05 ～ 15:05　第 2 会場（講義棟　103 教室）

医療をつなぐ製品データベース：実装へ向けた多層ステークホルダーの視点と未来戦略

座長：太田 美紀（独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 安全性情報・企画管理部）
　　池田 和之（奈良県立医科大学附属病院 薬剤部）
オーガナイザー：太田 美紀（独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 安全性情報・企画管理部）
　　竹本 信也（日本製薬工業協会 医薬品評価委員会　PV/C 専門ユニット（中外製薬株式会社））

S13-1　**製品データベースの概要と進捗状況について**
星野 達郎（独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 安全性情報・企画管理部 リスクコミュニケーション推進課）

S13-2　**製品 DB がもたらす価値への期待と、その実現に向けた課題**
井上 学（日本製薬団体連合会）

S13-3　**製品 DB への医療現場の期待―医薬品の輪を繋ぐ―**
池田 和之（奈良県立医科大学附属病院　薬剤部）

S13-4　**医療 DX の基盤としての製品データベース**
井髙 貴之（慶應義塾大学看護医療学部）

S13-5　**電子カルテシステム等における製品データベースの利活用について**
太田 聡司（一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会（JAHIS）医療システム部会　電子カルテ委員会）

シンポジウム 14　　7 月 12 日（日）13:05 ～ 15:05　第 3 会場（講義棟　101 教室）

RWD 研究の第一歩 ～初学者と指導者が語る研究のリアル～

座長：村木 優一（京都薬科大学　臨床薬剤疫学分野）
　　岡田 直人（山口大学医学部附属病院 薬剤部）
オーガナイザー：豖瀬 諒（京都薬科大学　臨床薬剤疫学分野）
　　岡田 直人（山口大学医学部附属病院 薬剤部）

S14-1　**臨床経験が十分でない大学院生が直面する RWD 研究の課題と克服**
水野 香菜子（京都薬科大学 臨床薬剤疫学分野）

S14-2　**市中病院に勤務する社会人大学院生が行う RWD 研究のリアル**
酒井 幹康（JA 愛知厚生連豊田厚生病院　薬剤部 / 名城大学薬学部　医薬品情報学研究室）

S14-3　**研究者と臨床現場の双方の視点から考える RWD 研究へのアプローチ**
後藤 良太（山口大学医学部附属病院 薬剤部）

S14-4　**学修背景の違いから考える RWD 研究における初学者支援**
豖瀬 諒（京都薬科大学　臨床薬剤疫学分野）

S14-5　**RWD を用いた臨床研究においてデータサイエンスが果たす役割**
林 邦好（京都女子大学データサイエンス学部）

シンポジウム 15　　7 月 12 日（日）13:05 ～ 15:05　第 4 会場（講義棟　201 教室）

周産期医薬品情報の充実のためのエビデンス創出促進に向けて

座長：酒井 隆全（名城大学薬学部医薬品情報学研究室）
　　小原 拓（東北大学病院　薬剤部）
オーガナイザー：酒井 隆全（名城大学薬学部医薬品情報学研究室）
　　小原 拓（東北大学病院　薬剤部）

S15-1　**周産期領域における医薬品情報の現状～添付文書の調査と TGA との比較を中心に**
佐藤 ユリ（株式会社 KTS プラン）

S15-2　**周産期領域におけるエビデンス創出の実際**
酒井 隆全（名城大学薬学部医薬品情報学研究室）

S15-3　**本邦における周産期薬剤疫学の現状と課題：スコーピングレビュー**
土屋 雅美（慶應義塾大学薬学部）

S15-4　**ENCePP ガイダンスに記載されている周産期薬剤疫学研究の実施における代表的なポイント**
岡田 裕子（高崎健康福祉大学　薬学部　薬剤疫学研究室）

S15-5　**日本で利用可能なデータベースの特徴の overview**
畠山 史朗（東北医科薬科大学薬学部　病院薬剤学教室 / 東北医科薬科大学病院　薬剤部）

ワークショップ 1　　7 月 11 日（土）9:30 ～ 11:30　第 5 会場（講義棟　203 教室）

実践！生成 AI 入門～医薬品情報を題材とした初級者向けワークショップ～

座長：佐藤 弘康（JA 北海道厚生連　網走厚生病院）
　　大塚 早貴（牧田総合病院）
オーガナイザー：佐藤 弘康（JA 北海道厚生連　網走厚生病院）
チューター：藤本 詩奈子（協立記念病院）
　　阿久津 潤（上都賀総合病院）
　　遠藤 達也（仙台市立病院）
　　江刺 晶央（宮城県立がんセンター）
　　中澤 香子（新潟大学医歯学総合病院）
　　寺内 恭平（藤田医科大学ばんたね病院）

ワークショップ 2　　7 月 12 日（日）9:30 ～ 11:30　第 5 会場（講義棟　203 教室）

使ってもらえる情報とは何か　～そのために必要な加工とは～

座長：内倉 健（昭和医科大学薬学部）
　　大庭 理寛（伊勢原協同病院 医療技術部）
オーガナイザー：内倉 健（昭和医科大学薬学部）
チューター：髙麗 貴史（前橋赤十字病院 薬剤部）
　　酒井 隆全（名城大学薬学部）
　　菅 裕亮（株式会社なの花北海道 なの花薬局若草店 / 株式会社メディカルシステムネットワーク学術部）
　　大幸 淳（済生会横浜市東部病院 薬剤部）

メディカルセミナー 1　　7 月 11 日（土）11:50 ～ 12:50　第 2 会場（講義棟　103 教室）

薬剤師偏在時代の薬剤師の育成と地域医療連携

座長：安野 伸浩（帝京大学 臨床薬学講座 病院薬学研究室）
演者：崔 吉道（金沢大学附属病院）

【共催】丸石製薬株式会社

メディカルセミナー 2　　7 月 11 日（土）11:50 ～ 12:50　第 3 会場（講義棟　101 教室）

化粧品の新たな価値創造「医療現場のウェルネスケア」

座長：今井 志乃ぶ（昭和医科大学薬学部　社会健康薬学講座薬剤疫学部門）
演者：山本（佐藤）友紀（日本矯正歯科研究所附属デンタルクリニック）
　　関根 大輝（株式会社 桃谷順天館　中央研究所）

【共催】株式会社 桃谷順天館

メディカルセミナー 3　　7 月 11 日（土）11:50 ～ 12:50　第 4 会場（講義棟　201 教室）

“ 眠れない ” は赤信号！
薬剤師の視点から考える不眠症治療の考え方

座長：山本 武人（東京大学医学部附属病院　薬剤部）
演者：城山 亮輔（東京大学医学部附属病院　薬剤部 / 緩和ケア診療部）

【共催】エーザイ株式会社

メディカルセミナー 4　　7 月 12 日（日）11:50 ～ 12:50　第 2 会場（講義棟　103 教室）

バイオシミラーの知っ得！情報／バイオシミラーの理解・普及に向けた病院薬剤師の役割とは

座長：小杉 三弥子（横浜市立大学附属市民総合医療センター 薬剤部）
演者：福土 将秀（札幌医科大学附属病院 薬剤部）
　　今給黎 修（福岡大学筑紫病院 薬剤部）

【共催】サンド株式会社

メディカルセミナー 5　　7 月 12 日（日）11:50 ～ 12:50　第 3 会場（講義棟　101 教室）

irAE マネジメントにおけるステロイド・免疫抑制薬の使い方

座長：竹内 裕紀（東京医科大学病院 薬剤部）
演者：峯村 信嘉（三井記念病院 総合内科）

【共催】中外製薬株式会社

メディカルセミナー 6　　7 月 12 日（日）11:50 ～ 12:50　第 4 会場（講義棟　201 教室）

外来がん薬物療法患者における医療用アプリ（Personal Health Record）利用

座長：永田 将司（東京科学大学病院 薬剤部）
演者：大神 正宏（茨城県立中央病院 薬剤局薬剤科）

【共催】東和薬品株式会社

■一般演題 口演

一般演題（口演）1　医薬品情報システム（AI、IoT　関連）

7 月 11 日（土）15:15 ～ 16:15　第 1 会場（図書館大ホール）

座長：角山 香織（大阪医科薬科大学 薬学部 臨床薬学教育研究センター）

O-01　**DI 関連文書間の対応関係と AI を用いた DI データ構造化手法の検討**
小倉 幸輝（株式会社　Kiei　AI ソリューション事業部）

O-02　**生成 AI の RAG 機能を活用した製品情報検索ツールの社内開発と問合せ対応への適用検討**
中江 友希（中外製薬株式会社　メディカルインフォメーション部）

O-03　**新薬評価業務における生成 AI および検索 AI の有用性検証**
柴田 郁弥（公益社団法人　石川勤労者医療協会　城北病院　薬剤部）

O-04　**薬局における患者情報収集と Personal Health Record 利活用に関する実態調査**
柳澤 友希（慶應義塾大学　薬学部　医薬品情報学講座）

O-05　**BERT を用いた診療記録における自動有害事象抽出**
竹村 匡正（兵庫県立大学大学院　情報科学研究科）

一般演題（口演）2　医療安全、地域医療

7 月 11 日（土）15:15 ～ 16:15　第 2 会場（講義棟　103 教室）

座長：高柳 理早（順天堂大学 大学院薬学研究科）

O-06　**医療機関におけるアレルギー情報の登録状況の調査**
池田 和之（奈良県立医科大学附属病院　薬剤部）

O-07　**PK/PD 解析によるダパグリフロジンにおける適切な手術前休薬期間の検討**
高崎 真在（東京理科大学大学院　薬学研究科　臨床薬剤情報学研究室）

O-08　**地域医療における薬局調剤データの有用性と活用可能性**
岸野 友紀（株式会社ファルモ）

O-09　**薬事規制のあり方に関する検討会が製造販売後調査等に与えた影響に関する考察**
木寺 俊雄（日本製薬工業協会　医薬品評価委員会　ファーマコビジランス部会　継続課題対応チーム 3（日本新薬株式会社））

O-10　**外来がん化学療法における電子患者日誌 " 薬の安全まもるくん " の導入と効果**
香取 哲哉（医療法人徳洲会　千葉西総合病院　薬剤部）

一般演題（口演）3　課題研究、医薬品の適正使用

7 月 11 日（土）15:15 ～ 16:15　第 3 会場（講義棟　101 教室）

座長：小原 拓（東北大学東北メディカル・メガバンク機構／東北大学病院薬剤部）

O-11　**新薬における併用禁忌薬の設定の現状と課題**
濱野 匠（東京大学医学部附属病院　薬剤部）

O-12　**生成 AI による論文抽出補助が与える医薬品情報評価への影響に関する検討**
金井 紀仁（新座病院　薬剤科）

O-13　**市販化に至った院内製剤の使用実態調査：NDB オープンデータとアンケート調査の解析**
荘司 智和（東京薬科大学　薬学部　薬剤疫学講座）

O-14　**ゲムシタビン乾燥凍結製剤から液剤への切り替えによる皮疹の出現に関する検討**
森木 邦明（鳥取大学　医学部　附属病院）

O-15　**医療従事者の視点に基づく RMP 資材改善のための実態調査研究**
鈴木 すみれ（株式会社メディカルシステムネットワーク　薬局事業本部　薬局教育部）

一般演題（口演）4　データベース研究

7 月 11 日（土）15:15 ～ 16:15　第 4 会場（講義棟　201 教室）

座長：佐藤 嗣道（東京理科大学薬学部）

O-16　**高齢外来患者における処方複雑性と疾患との関連：医療ビッグデータを用いた横断研究**
井上 眞人（東京理科大学大学院薬学研究科　臨床薬剤情報学研究室）

O-17　**CAR-T 療法の安全性に関する自発報告データベース解析**
西山 英木（和歌山県立医科大学　薬学部　薬学科）

O-18　**医薬品副作用データベース (JADER) を用いた ARNI と SGLT2 阻害薬併用時の低血糖との関連**
木村 留奈（京都薬科大学　臨床薬剤疫学分野）

O-19　**フレイル高齢者の潜在的な不適切処方と有害事象との関連：コホート研究**
森崎 結香子（東京理科大学　薬学部　臨床薬剤情報学研究室）

O-20　**VigiBase を用いた免疫関連有害事象の重複と重篤化に関する薬剤疫学的研究**
小林 有里（岡山大学大学院　医歯薬学総合研究科　臨床薬剤学分野）

■一般演題 ポスター

データベース研究

P-01 **シスプラチンとビスホスホネートもしくはデノスマブ併用による低 Ca 血症発症リスク上昇**
木下 照常（刈谷豊田総合病院　薬剤部）

P-02 **関節リウマチにおける TNF αおよび JAK 阻害薬の重篤感染症リスク：傾向スコア解析**
太田 涼介（近畿大学奈良病院　薬剤部）

P-03 **漢方薬の副作用情報の解析（第３版）**
齋藤 真穂（筑波大学附属病院　薬剤部）

P-04 **大規模副作用 DB を用いた抗てんかん薬と抗ヒスタミン薬併用時のてんかん発作リスク評価**
吉川 博（広島大学病院　薬剤部）

P-05 **日本における妊娠中の制吐薬の使用実態調査：保険者データベースを用いた検討**
伊藤 千晶（名城大学　薬学部　医薬品情報学研究室）

P-06 **機械学習を用いた糖尿病治療薬と転倒リスクの構造解析**
塚本 純子（群馬大学医学部附属病院　薬剤部）

P-07 **日本の医薬品副作用データベースを用いた PARP 阻害薬と二次がんの関連の評価**
岸 亮薫（京都薬科大学　臨床薬剤疫学分野）

P-08 **自発報告データベースを用いた利尿薬と電解質異常の関連および性差の検討**
間井田 成美（東京理科大学　薬学部　薬学科）

P-09 **喘息治療におけるステロイドの違いによる臨床効果：保険者データベースを用いた検討**
原 大智（名城大学　薬学部　医薬品情報学研究室）

P-10 **医療ビッグデータを用いた高齢外来患者における処方複雑性の実態調査**
中澤 拓斗（東京理科大学　薬学部　臨床薬剤情報学研究室）

P-11 **メトトレキサートによる腎障害と関連する薬剤の探索：JADER と FAERS を用いた不均衡分析**
白山 祐輝（株式会社ツルハ）

医薬品の適正使用

P-12 **デジタルチャネルを活用した製薬企業くすり相談体制及びくすり相談対応指針の改訂**
坂本 真理子（武田薬品工業株式会社）

P-13 **回復期病棟での薬剤師介入の現状：高齢者の安全な薬物療法ガイドラインに基づく評価**
干井 香織（医療法人やすだ　堀口記念病院　薬剤科）

P-14 **京都府薬剤師会会員施設におけるバイオシミラー使用実態調査**
三浦 誠（医療法人社団洛和会　洛和会音羽病院　薬剤部）

P-15 **ジェネリック医薬品の電子添文から考える医薬品情報　新記載要領対応で生じた情報相違**
宮田 隆志（日本ジェネリック製薬協会（JGA）安全性委員会）

P-16 **沖縄県における SGLT2 阻害薬服用患者の飲水量と HbA1c 推移の関連**
池内 晶哉（ドラッグイレブン薬局　佐敷店）

P-17 **眼障害のモニタリングを要する抗がん薬の増加とその特徴 - 添付文書と RMP に基づく検討 -**
森本 真宗（埼玉医科大学総合医療センター　薬剤部）

P-18 **工学生・薬学生・一般消費者による一般用医薬品添付文書の禁止図記号統一に向けた検討**
山下 純（福山大学　薬学部）

P-19 **医療用経口ゼリー製剤の製剤評価に基づく食品表示基準への適用の検討**
秋山 滋男（昭和薬科大学　臨床薬学教育研究センター　応用薬物治療部門）

P-20 **心血管リスクによる個別最適化を目指す NSAIDs アカデミック・ディテーリング資材の改訂**
大沼 真季（株式会社メディパルホールディングス）

P-21 **基礎と臨床を融合した閉経後骨粗鬆症アカデミック・ディテーリング資材の開発**
池澤 直樹（千葉西総合病院薬剤部）

P-22 **小児肺動脈性高血圧症治療を目的としたタダラフィル錠粉砕物の物理化学的安定性**
花輪 剛久（東京理科大学　薬学部）

P-23 **リスペリドン内用液の配合変化に関する検討 ~ 炭酸清涼飲料水および果汁飲料との混合 ~**
田山 剛崇（広島国際大学薬学部）

P-24 **MR 実務教育の倫理に関するアンケート調査；2026 年度制度改定を見据えて**
岡田 侑樹（東京理科大学大学院　薬学研究科）

P-25 **メトホルミン併用時におけるダパグリフロジンの適切な手術前休薬期間の検討**
田之岡 璃奈（東京理科大学大学院　薬学研究科　臨床薬剤情報学研究室）

P-26 **カナグリフロジンの適切な手術前休薬期間設定を目指した PK/PD 解析**
伊藤 耀太郎（東京理科大学大学院　薬学研究科　臨床薬剤情報学研究室）

医薬品情報システム

P-27 **AI/ データ分析ツールで考察する患者への情報提供の課題**
坂口 今日子（鳥居薬品株式会社　メディカルインフォメーション部）

P-28 **医薬品情報関連研究における生成 AI を活用した有害事象の情報収集の検討**
伊藤 由彦（静岡県立大学大学院　薬学研究院　薬食研究推進センター）

P-29 **誤嚥性肺炎・せん妄リスクを志向した化学構造に基づくムスカリン M1/M3 阻害活性 GNN 予測**
榎屋 友幸（鈴鹿医療科学大学　薬学部　薬学科　医薬品情報学研究室）

P-30 **生成 AI の劇的進化 - 医薬品情報室の問い合わせ業務における ChatGPT 5 Pro の実力 -**
鮎原 秀明（東京医科大学病院 薬剤部）

P-31 **大規模言語モデルとデータベースを統合した 医薬品 AI 検索システムの設計と検証**
清原 正隆（西宮すなご医療福祉センター）

P-32 **Microsoft Power Query for Excel と VBA を活用した周術期薬剤管理加算取得への取り組み**
三世川 幸太郎（前橋赤十字病院）

医薬品情報業務

P-33 **抗がん薬バイアル外表面汚染に関する実測調査と医薬品情報提供の現状**
江刺 晶央（宮城県立がんセンター　薬剤部）

P-34 **ペーパーレス化及びバーコード出席管理による薬事委員会の業務負担軽減と円滑化**
池上 遼（岐阜市民病院　薬剤部）

P-35 **DI 管理室によるワクチンの副反応情報の収集、報告、救済制度申請支援への積極的関与**
下田 賢一郎（社会医療法人寿量会　熊本機能病院　薬剤部）

P-36 **糖尿病多職種チームで作成したシックデイカードの院内運用と課題**
坂井 千夏（東京医科大学病院　薬剤部）

P-37 **非薬剤師による情報収集業務負担の定量評価**
石田 俊介（徳島大学病院　薬剤部）

P-38 **当院の臨床実態を反映した周術期薬剤休薬一覧表の改訂について**
酒井 亮（福島赤十字病院　薬剤部）

医療情報システム

P-39 **電子カルテと医薬品情報一元管理システムの連動による DI 情報の活用変化**
尾浜 直子（洛和会音羽病院　薬剤部）

P-40 **薬効分類番号における「その他」分類の経年推移と代替薬検索システムの現状調査**
諸根 佑樹（東京薬科大学　薬学部　臨床薬学大講座）

P-41 **生成 AI × DWH による服薬指導記録送信確認の自動化と薬剤部門 DX の推進**
五味 裕大（諏訪赤十字病院　薬剤部）

P-42 **指示簿指示におけるアレルギー薬剤投与防止を目的とした YJ コード照合システムの開発**
野口 みゆき（明石市立市民病院　医療技術部　薬剤課）

P-43 **添付文書 XML の用法・用量におけるデータ構造の課題と標準化への提言**
渡邉 美智博（医療法人社団 誠弘会 池袋病院）

P-44 **一般名処方マスタ削除後の医薬品マスタ運用に関する現状と課題**
齊藤 安昌（国家公務員共済組合連合会　三宿病院　薬剤科）

地域医療、医療連携

P-45 **親子体験型「おくすりの秘密」教室の実践報告と社会教育におけるニーズの検討**
倉田 香織（東京薬科大学）

P-46 **質疑応答・調査結果を記録する「DI 検索システム」の活用と DI 室の施設連携について**
米山 恵子（社会福祉法人聖隷福祉事業団　聖隷横浜病院　薬剤課）

P-47 **システマティックレビューによる健康食品・サプリメントのエビデンスの可視化**
伊藤 愛葉（名城大学　薬学部　医薬品情報学研究室）

P-48 **ポリファーマシーに対する薬局薬剤師による介入事例の実態調査**
里 尚也（ぼうしや薬局　学術 DI 室）

P-49 **海外における薬剤師職能のエビデンスの可視化　その 3**
伊藤 愛奈（名城大学　薬学部　医薬品情報学研究室）

医薬品情報学の教育

P-50 **市販の熱溶解積層法 3D プリンタを利用した小型分子模型の製作**
臼井 一城（東邦大学薬学部社会薬学教室）

P-51 **病院薬剤師を対象とした EBM 講習の効果評価と学習環境の現状〜日米教育の視点を交えて**
宮浦 淳一（医療法人資生会八事病院　薬剤課）

P-52 **病院実務実習における薬学実習生のプレアボイド報告の内容分析と教育的意義**
土屋 翔子（名古屋市立大学医学部附属東部医療センター　薬剤部）

P-53 **薬物間相互作用の定量的評価に関するワークショップの教育効果**
近藤 悠希（日本医療薬学会　2024 年度医療薬学学術第 2 小委員会）

医薬品安全管理、その他

P-54 **保険薬局における RMP ポケット版の有用性に関するアンケート調査**
於本 崇志（岩手医科大学附属病院 薬剤部）

P-55 **コンビネーション製品の操作手技に関する医薬品リスク管理計画(RMP)の記載状況**
永野 靖典（三楽病院 薬剤科）

P-56 **医療関係者からの製薬会社への電話問合せ内容の調査**
田鳥 祥宏（大塚製薬株式会社　メディカル・アフェアーズ部）

P-57 **ポリファーマシースクリーニングツールとしての薬物治療関連 QOL 尺度の有用性評価**
畑 武生（大阪医科薬科大学病院薬剤部）

P-58 **Web クローリングを用いた院外処方プロトコルの用語適切性調査**
小池 健太（帝京大学ちば総合医療センター　薬剤部）

P-59 **製薬企業における新型コロナウイルス感染症流行前後の市販直後調査の変化 : 質問紙調査**
瀧川 正紀（東邦大学　薬学部　臨床薬剤学研究室）

P-60 **エルデカルシトール内服中に高度脱水・永続的食思不振となり胃瘻を要した高齢者の 1 例**
久保 祥子（医療法人協和会　協和会病院　薬剤科）

P-61 **簡易懸濁法適用可否情報の処方箋への明示による過誤防止の実践**
坪田 美風（医療法人育和会　育和会記念病院　薬剤部）

P-62 **医療現場の薬剤師を対象とした製剤・規格の未充足ニーズに関する全国調査**
渡邉 享平（福井大学　医学部附属病院　医学研究支援センター）